

様式第 15 号 (第 20 条関係)

平成 28 年 3 月 11 日

(あて先) 熊本市長

郵便番号

住所

団体名 ボランティアグループ「笑顔のたまて箱」

代表者 職名 代表 氏名 石原 純生 印

熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成 27 年 4 月 1 日付け指令 (市協) 第 1-12 号により、平成 27 年度熊本市市民公益活動支援助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

わくわく人形劇公演事業

2 助成事業の実施期間

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日

3 助成事業の内容

人形劇の制作及び人形劇公演

4 事業の成果

人形劇「泣いた赤鬼」・人形劇「ほっかむり兵六」などを制作

熊本市内を中心に、13 回、1400 人に披露し、好評を得た。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書 (様式第 16 号)
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業報告書

	平成27年度
事業名	わくわく人形劇公演事業
目的	子どもの笑顔があふれ、楽しい夢があふれる社会になることを願い、児童の健全育成に関する事業を行い、児童文化の向上を図り、社会福祉の増進に寄与することを目的として活動を開始し始めたが、子どもたちに披露する人形劇等がまだ十分ではないため、人権をテーマとした新作人形劇を制作し、熊本市内の子どもたちに観劇してもらうことで、子どもたちの感性の成長と、子ども支援ネットワークの構築に寄与します。
事業期間	平成27年4月 ～ 平成28年2月
具体的な事業内容	{事業概要} ○人形劇制作 泣いた赤鬼(原作:濱田広介)を基本に、青鬼がいなくなった後の物語をつくり、やさしさと差別を、楽しくわかりやすく人形劇脚本を作成する。赤鬼と青鬼の2対の人形は、棒使いを基本としたギニョールとして制作した。 また、女の子とオニの友情を描いた「ほかつむり兵六」を製作した。 ○人形劇公演活動 平成27年10月から、平成28年2月末日まで、公民館や子育てネットワークなど、地域の子育て支援を実施している団体と連携し人形劇公演を市内を中心に13回程度実施した。 なお、次年度以降も人形が壊れない限り各地で公演が可能であり、熊本市内各地で活動を継続する計画である。
活動場所	熊本市内の公民館、地域コミュニティセンター、児童施設など
期待される効果	・子どもたちが人権をテーマとした人形劇を見ることで、心豊かに成長することができる。また、育児サークルや子育て支援ネットワークが様々な催事を実施する際に、無料で公演活動をする人形劇を利用することで、集客が可能となる。

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金	151,000円	会費(年@5,000円×20名)及び 臨時会費51,000円 事業収益等は無
	市民公益活動支援助成金	100,000円	当該事業に対する助成希望額
	その他の補助金・助成金	0円	
	寄附金・協賛金	50,285円	公演先などからの寄付金
	その他	0円	
	計	301,285円	
支 出	助成対象経費	人件費	0円
		報償費	0円
		役務費	12,442円 通信費
		使用料・賃借料	70,200円 公演時トラック使用料および 練習会場、録音開場賃借料など
		消耗品費	74,220円 人形・舞台・小道具制作費および 公演活動時の消耗品等
		旅費	54,991円 公演活動時の旅費および ガソリン代、駐車場代
		備品購入費	0円
		その他	0円
		小計	211,853円
	助成対象外経費	食糧費	89,432円 公演活動時のお茶、弁当代、および 事務費など
		小計	89,432円
	計	301,285円	